

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商工会名	富山県／富山市八尾山田商工会		青年部員名	松崎貴	
企業名	(有)松崎自動車工業		代表者名	松崎甚吉	
企業概要	業種	自動車整備業	設立年	1974年7月	
			従業員数	5人	
補助事業名	急増する次世代自動車に対応するため、最新型故障診断機の導入			テーマ区分(選択)	
				設備投資	

【施策・政策を活用した経緯】※企業の経営状況、問題・課題等を含め記入

当社は、設立40年を超える地域に密着した自動車整備会社である。民間車検工場を完備していることから車検整備はもちろん、新車・中古車販売、钣金塗装、パーツ販売など自動車に関することは幅広く対応できることが強みである。また、熱心な社員教育による、高いスキルを持った整備士の接客は好評で馴染みの顧客も多い。

しかし、近年所有者が増えている次世代自動車のメンテナンスは、高性能化に伴い、整備士の経験やマニュアルだけでは対応が困難であり、専用の機器が無いと修理・整備・故障探究が行えなくなっている。当社ではこの部分に関しては外注にて対応しているものの、今後も電気・水素自動車保有者の増加が見込まれ、また、ディーラーや大手チェーン店が自動車販売だけでなく、整備などアフターサービスに注力してくる中、他社に負けない整備体制の構築が急務であり、そのためには「次世代自動車の故障診断」を行える専用機器が欠かせないツールとなっている。

【主な活用内容、方法等】

「小規模事業者持続化補助金」を活用し、「最新型故障診断機」を導入する。ハイブリッドカーなど次世代自動車の車検や修理などワンストップでの対応を可能にする。また、当機器はバスやトラック、国産高級車、輸入車の点検対応など幅広い車種に対応しているため、SNSなどで当社のこれらの技術面のPRを行い、大型車所有の法人や自動車愛好家などの新規顧客の取り込みを図ることで、整備点検数の増加を目指す。

また、今までの外注工程を自社対応することで外注費用の削減及び業務効率化、ワンストップ対応による他サービスの提案など相乗効果による売上拡大を図る。

【活用の成果】

「最新型故障診断機」を導入し、次世代自動車への対応を可能とする整備環境の構築を行った。成果として、自社対応できる車種の増加に伴い、整備点検数が約8%増加した。また、自社による対応は、顧客に故障状況や診断結果を見せることができることを可能とし、潜在的な故障の提案が可能となり、顧客満足度の向上につながっている。外注件数は、導入前と比較して、月平均40%程度減少しており、その分が自社工程となることで売上向上に寄与することとなった。

【活用後の声】

事業実施時は、自社ホームページでのPRが間に合わず、顧客への告知が少し不足していたが、現在はホームページでハイブリッドカー診断や輸入車診断などの項目を謳っており、引き続き、新規顧客の獲得に努めていきたい。

写 真(3枚程度)

松崎自動車工業 外観



導入した故障診断機



増加する次世代型自動車